

第5期 中間決算概要資料

2009年度中間期（2009年9月期）

あなたに、ベスト・ウェイ。



1. 2009年度中間期の主な取り組みの概要

NEXCO

お客さまの“安全・安心”を第一に、より“快適”に、より“便利”に高速道路をご利用いただけるよう業務を実施しています

➤ 政府の経済対策による高速道路の料金割引を円滑に実施しました。

- ・休日特別割引(地方部上限 1,000円)等を実施し、多くのお客さまにご利用いただきました。
- ・GW、お盆時期等の混雑対策・安全対策を確実に実施しました。

➤ 高速道路の建設を着実に進め早期開通に努めました。

- ・日本海東北自動車道等を予定より早期に開通しました。
- ・約21kmを新規開通し、営業延長は3,502kmとなりました。

➤ SA・PAのお客さまサービスの向上に取り組みました。

- ・商業施設の新しいブランド「Pasar(パサール)」などのサービスを提供しています。

2. 高速道路の料金割引きを円滑に実施しました。

NEXCO

<単体ベース>

料金収入等は2,977億円を計上

◇料金収入等は、景気悪化のなか、休日特別割引等の実施や燃料価格の下落等により、交通量(走行台キロ)が15.2%増加した一方、割引きサービスを多くのお客様にご利用いただいた結果、割引額が1,766億円(+121.6%)となり、前年同期に対し556億円(15.8%)の減収となりました。

道路資産賃借料と管理費用計2,906億円を計上

◇管理費用は、お客様に安全・安心・快適にご利用いただくための補修工事の早期実施、休日特別割引等の実施に伴う混雑緩和・安全対策等により、前年同期に対し20億円(+2.8%)増加しました。

◇道路資産賃借料は、休日特別割引等の実施に伴い、高速道路機構との協定を変更したことから、前年同期に対し571億円(21.1%)減少しました。

機構:独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構

(単位:億円)

	2008年度中間	2009年度中間
料金収入等	3,533	2,977
道路資産賃借料	2,711	2,139
管理費用	745	766
営業利益	76	70

料金収入等には、その他の売上高が含まれています。

3. 道路事業の営業利益は前期とほぼ同額となりました。

【道路事業】

<単体ベース>

<連結ベース>

営業収益

3,543億円〔3,901億円〕

3,571億円〔3,936億円〕

営業費用

3,473億円〔3,825億円〕

3,490億円〔3,853億円〕

営業利益

70億円〔76億円〕

80億円〔82億円〕

営業収益には道路資産完成高、営業費用には道路資産完成原価(ともに当期は566億円)を含んでいます。

()書きは昨年度中間期の数字。

<連結ベース>の営業収益のうち、「外部顧客に対する売上高」は、3,553億円となっています。

4. SA・PA事業は、お客様の増加により増収となりました。

【関連事業】

<単体ベース>

<連結ベース>

営業収益

170億円〔188億円〕

308億円〔256億円〕

営業費用

138億円〔167億円〕

253億円〔220億円〕

営業利益

32億円〔21億円〕

54億円〔35億円〕

【うちSA・PA事業】

<単体ベース>

<連結ベース>

営業収益

59億円〔54億円〕

196億円〔122億円〕

営業費用

31億円〔32億円〕

146億円〔85億円〕

営業利益

27億円〔22億円〕

50億円〔36億円〕

()書きは昨年度中間期の数字。

関連事業には、SA・PA事業のほか、国や地方公共団体からの受託事業その他関連事業を含んでいます。

5. 経営状況の総括

【全事業】

営業収益	営業費用
------	------

< 単体ベース >

3,714億円 〔4,090億円〕	3,611億円 〔3,993億円〕
----------------------	----------------------

< 連結ベース >

3,861億円 〔4,179億円〕	3,725億円 〔4,060億円〕
----------------------	----------------------

営業利益	道路事業	関連事業
------	------	------

102億円 〔97億円〕	70億円 〔76億円〕	32億円 〔21億円〕
-----------------	----------------	----------------

135億円 〔118億円〕	80億円 〔82億円〕	54億円 〔35億円〕
------------------	----------------	----------------

経常利益

105億円〔105億円〕

148億円〔134億円〕

中間純利益

59億円〔56億円〕

87億円〔75億円〕

連結ベースの営業収益及び営業費用は、P3、P4の各部門の数字を合計したものから、セグメント間の取引として18億円分を消去したものですので、単純な合計額とは一致しません。

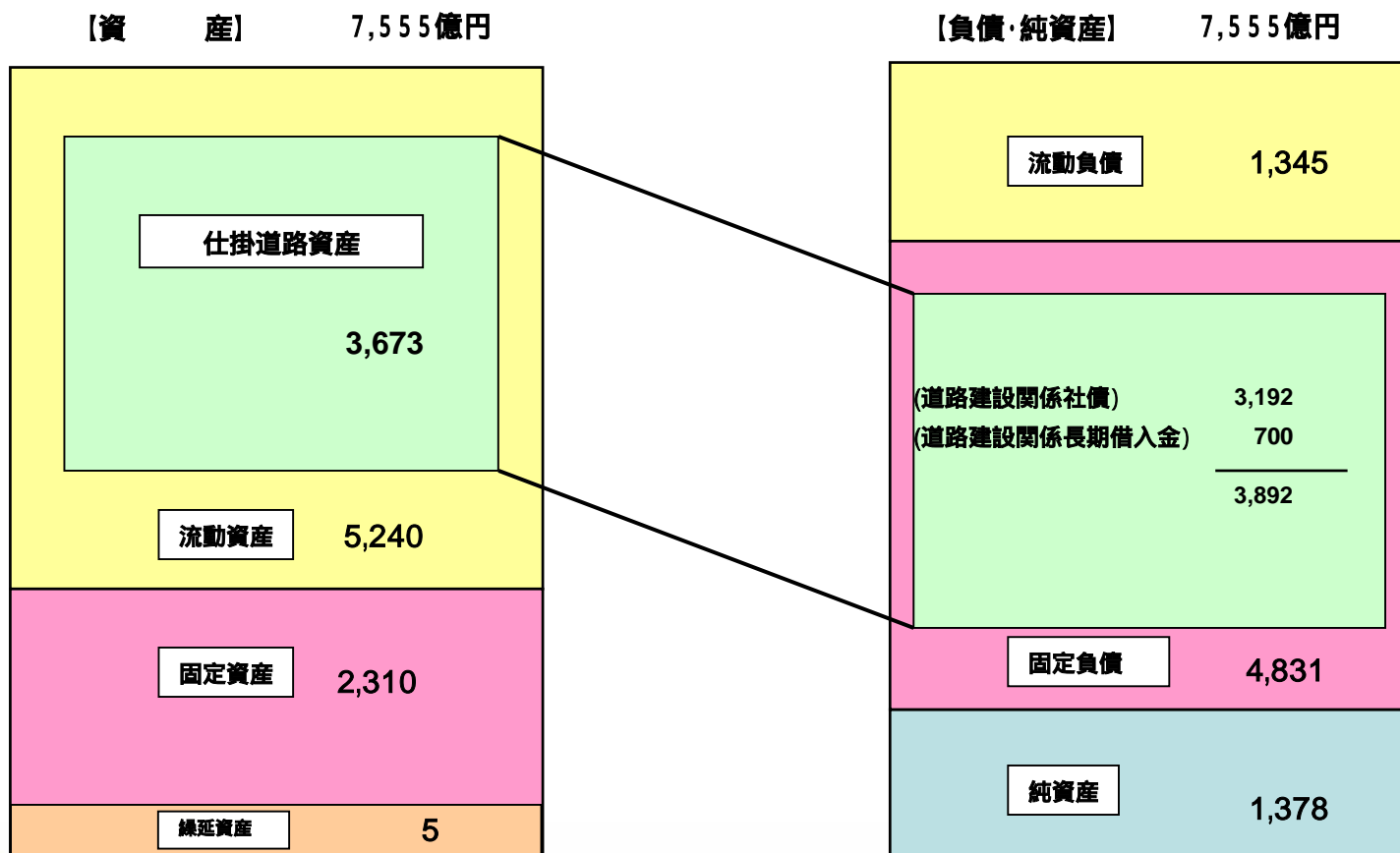
営業収益には道路資産完成高、営業費用には道路資産完成原価(ともに当期は566億円)を含んでいます。

()書きは昨年度中間期の数字。

6. 資産・負債の構造

<単体ベース>

➤ 道路建設のための固定負債が、仕掛道路資産に対応しています。



7. 連結対象の子会社・関連会社について

NEXCO東日本グループ一体となってコラボ(協働)体制を構築し、グループ企業価値の最大化を目指します。

■連結子会社

18社

【連結子会社】

- ◇(株)ネクスコ・トール東北
- ◇(株)ネクスコ・トール関東
- ◇(株)ネクスコ・トール北関東
- ◇(株)ネクスコ・エンジニアリング北海道
- ◇(株)ネクスコ・エンジニアリング東北
- ◇(株)ネクスコ東日本エンジニアリング
- ◇(株)ネクスコ・エンジニアリング新潟
- ◇(株)ネクスコ・メンテナンス北海道
- ◇(株)ネクスコ・メンテナンス東北
- ◇(株)ネクスコ・メンテナンス関東
- ◇(株)ネクスコ・メンテナンス新潟
- ◇(株)ネクスコ東日本パトロール
- ◇(株)E-NEXCOパトロール
- ◇(株)ネクスコ・サポート北海道
- ◇(株)ネクスコ東日本トラスティ
- ◇ネクセリア東日本(株)
- ◇(株)ネクスコ東日本エリアサポート
- ◇(株)ネクスコ東日本リテイル

■持分法適用関連会社

7社

【持分法適用関連会社】

- ◇(株)NEXCOシステムズ
- ◇(株)高速道路総合技術研究所
- ◇東京湾横断道路(株)
- ◇東北高速道路ターミナル(株)
- ◇(株)NEXCO保険サービス
- ◇ハイウェイ・トール・システム(株)
- ◇奥羽道路サービス(株)

*ネクスコ・トール とは、料金収受業務を担う会社の名称。

*ネクスコ・エンジニアリング とは、保全点検業務を担う会社の名称。

*ネクスコ・メンテナンス とは、維持修繕業務を担う会社の名称。

8. 年度損益の見通しについて

◇ 2009年度は単体で23億円、連結で47億円の利益を見込んでいます。

• 高速道路事業の営業利益は当中間期に70億円を計上しましたが、通期では2億円になると予想しています。これは冬期における交通確保のための雪氷対策等及び維持修繕関係の工事の多くが下半期に完成することにより、費用は下半期の方が多く出る反面、夏期の方が天候や長期休暇の関係で料金収入が多く、収益は上半期の方が多く出ることによります。

(単位:億円)

		単体ベース	連結ベース
【高速道路事業】	営業収益	7,453	7,453
	営業利益	2	2
【関連事業】	営業収益	404	657
	営業利益	33	56
【全事業】	営業収益	7,857	8,110
	営業利益	36	58
	経常利益	40	83
	当期純利益	23	47

2009年度の見込みは、当社が現時点で合理的と判断する一定の前提に基づいており、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は様々な要素により、上記の見込値と異なる可能性があることをご承知おき下さい。

個別貸借対照表、損益計算書(要約版)



[資料 - 1]

【貸借対照表】

(単位 億円・切捨)

区分	金額	区分	金額
仕掛道路資産	3,673	未払金	615
その他の流動資産	1,567	その他の流動負債	730
(流動資産計)	5,240	(流動負債計)	1,345
有形固定資産	2,060	道路建設関係社債	3,192
無形固定資産	73	道路建設関係長期借入金	700
投資その他の資産	175	その他の固定負債	938
(固定資産計)	2,310	(固定負債計)	4,831
(繰延資産計)	5	(負債合計)	6,177
		資本金	525
		資本剰余金	587
		利益剰余金	265
		(純資産合計)	1,378
(資産合計)	7,555	(負債純資産合計)	7,555

【損益計算書】

(単位 億円・切捨)

区分	金額
高速道路営業収益	3,543
料金収入等	2,977
道路資産完成高	566
高速道路営業費用	3,473
道路資産賃借料	2,139
管理費用	766
道路資産完成原価	566
高速道路事業営業利益	70
関連事業収益	170
関連事業費用	138
関連事業営業利益	32
(営業利益)	102
営業外収益	6
営業外費用	3
(経常利益)	105
特別利益	6
特別損失	0
(税引前中間純利益)	111
法人税等	52
(中間純利益)	59

連結貸借対照表、損益計算書(要約版)

NEXCO

[資料 - 2]

【連結貸借対照表】

(単位 億円・切捨)

区分	金額	区分	金額
仕掛道路資産	3,665	未払金	575
その他の流動資産	1,641	その他の流動負債	643
(流動資産計)	5,307	(流動負債計)	1,219
有形固定資産	2,110	道路建設関係社債	3,192
無形固定資産	78	道路建設関係長期借入金	700
投資その他の資産	240	その他の固定負債	1,099
(固定資産計)	2,429	(固定負債計)	4,992
(繰延資産計)	5	(負債合計)	6,211
		資本金	525
		資本剰余金	587
		利益剰余金	418
		評価・換算差額等	-0
		(純資産合計)	1,530
(資産合計)	7,742	(負債純資産合計)	7,742

【連結損益計算書】

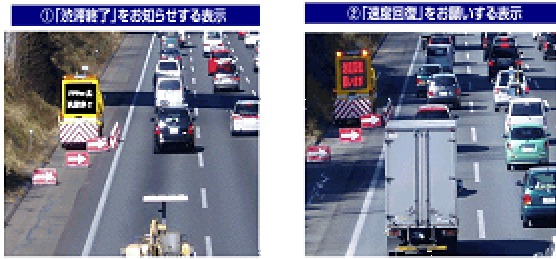
(単位 億円・切捨)

区分	金額
高速道路事業	
営業収益	3,571
営業利益	80
関連事業	
営業収益	308
営業利益	54
消去又は全社	
営業収益	-18
営業利益	-0
全事業	
 営業収益	3,861
 営業利益	135
営業外収益	16
営業外費用	4
(経常利益)	148
特別利益	6
特別損失	0
(税金等調整前中間純利益)	154
法人税等(法人税等調整額を含む)	67
(中間純利益)	87

料金割引に伴う交通混雑対策について、確実に実施

[資料 - 3]

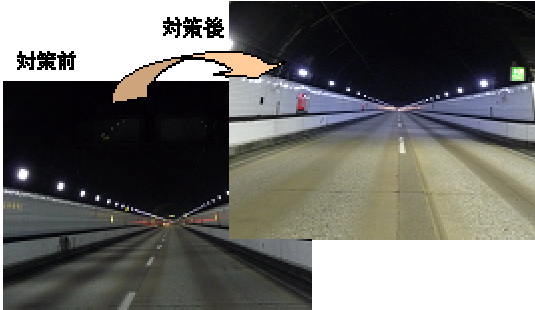
速度回復情報の提供による呼びかけ



渋滞後尾への追突注意喚起



トンネル照明の照度アップによる速度低下の抑制



駐車場整理員の配置



仮設トイレの配置

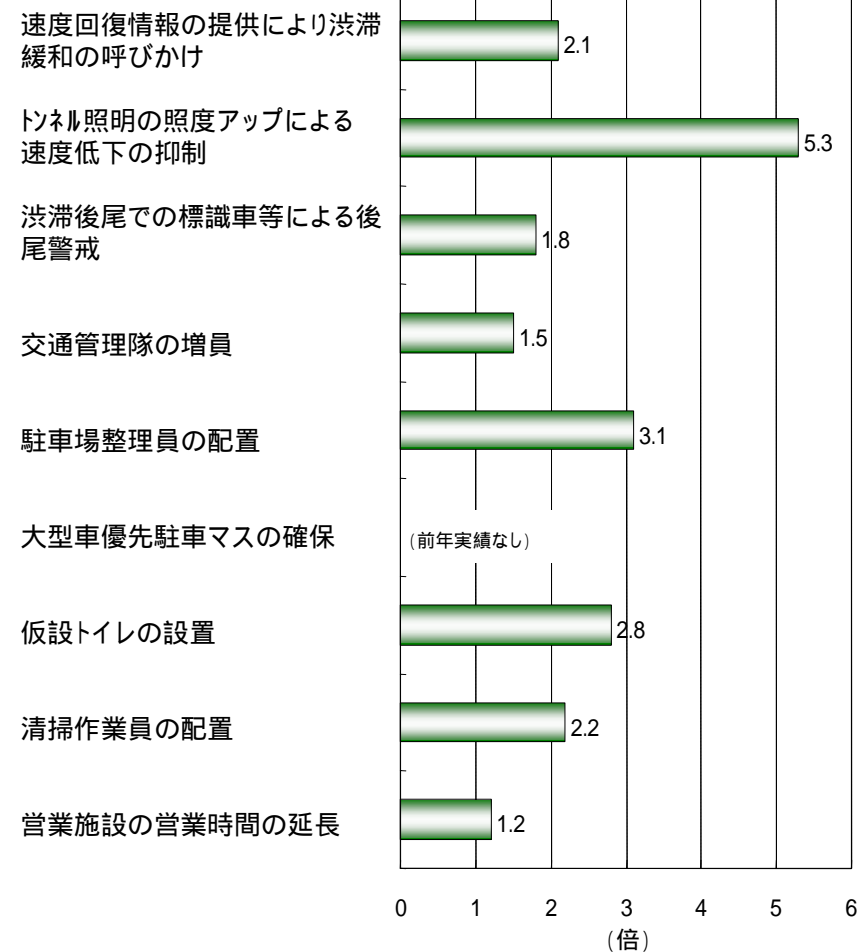


大型優先駐車マスの確保



H21 お盆時期の交通混雑対策

各混雑対策 (対前年同期比)



「安全・安心・快適」な高速道路空間の提供

【交通安全対策】

高機能舗装の施工



強化型防護柵(中央分離帯)



【耐震補強対策】

橋梁の耐震補強工事



【橋梁の補修工事】

コンクリート剥落対策工事



2009年度中間期の主な取り組み 高速道路建設

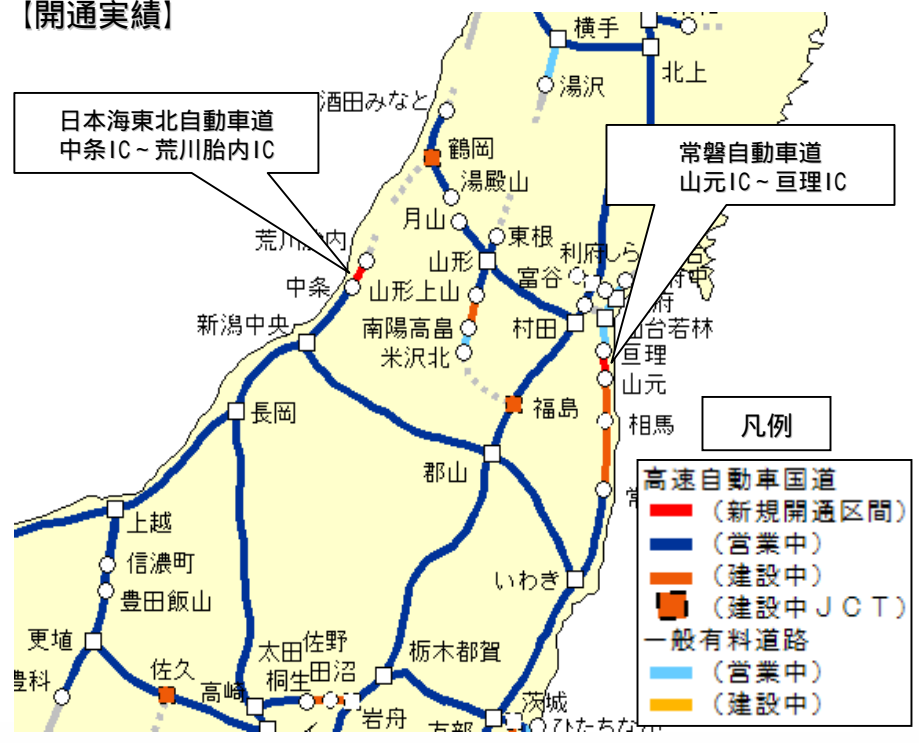
高速道路の新規開通

- ・平成21年7月18日 日本海東北自動車道 中条IC～荒川胎内IC（9.7km）
- ・平成21年9月12日 常磐自動車道 山元IC～亶理IC（11.5km）

上記2路線については、予定よりも早期に開通することができました。

日本海東北自動車道（中条IC～荒川胎内IC） 2ヶ月前倒し
 常磐自動車道（山元IC～亶理IC） 12ヶ月前倒し

【開通実績】



【期待される整備効果】

- ・交通ネットワークの向上に伴う移動時間（走行時間）の短縮。
- ・第三次救急医療機関への搬送時間の短縮に伴う医療環境の向上。
- ・並行する一般道の渋滞緩和に伴う沿道地域の環境改善（CO2排出量等の減少）。

常磐自動車道（山元～亶理）の開通により、並行する国道6号の交通が高速に転換することで、亶理市街地の朝夕の通勤等による慢性的な渋滞の緩和が期待されます。



SAPAのお客様サービスの向上

Pasar(パサール)の展開

SAPAを「あるから利用する施設」から「進んで利用したくなる施設」へ転換していくため、「Pasar(パサール)」というブランドで「高速道路型の商業施設」を展開

第1弾 京葉道路 Pasar幕張(上下線)に続き、

第2弾 東北道 Pasar羽生(下り線)平成21年11月18日OPEN

第3弾 関越道 Pasar三芳(上り線)平成21年12月16日OPEN

東北道 Pasar羽生(下り線)



関越道 Pasar三芳(上り線)



ドラマチックエリアの展開

それぞれの地域にふさわしい「旅のドラマ」を演出する「ドラマチックエリア」を展開

上信越道 横川SA(上り線)平成21年3月26日OPEN

関越道 赤城高原SA(下り線)平成21年7月24日OPEN

上信越道 横川SA(上り線)



関越道 赤城高原SA(下り線)

